

6. 学術情報センター

学術情報センター長	南沢 享 (細胞生理学講座)	(2016年4月から)
学術情報センター図書館国領分館長	三崎 和志 (医学科)	(2019年4月から)
学術情報センター標本館委員会委員長	橋本 尚詞 (解剖学講座)	(2008年4月から)
学術情報センター国際交流センター長	芦田 ルリ (国際交流センター)	(2017年4月から)

1) 2020年度統計 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 図書館

① 蔵書冊数	261,823冊
② 現在受入雑誌数	625種 (和543種、洋82種)
③ 電子ジャーナル提供数	6,329種
④ 館外貸出冊数	3,948冊
⑤ 入館者数	18,840人
⑥ 他学との文献相互貸借数	貸出1,388件 借受1,421件
⑦ 複写サービス	20,905枚 (代行複写、国領・葛飾・第三・柏へのFAX送信、相互貸借 (他館))
⑧ 情報検索サービス	116,390件 (代行とセルフサービスの合計)
⑨ 所蔵視聴覚資料	ビデオ・プログラム 922セット
	スライド・プログラム 5セット
	16mmフィルム 37セット
	語学プログラム 206セット
	その他 53セット

(2019年度統計に記載のあった「コンピュータ・ソフトウェア」は、旧バージョンで、現在のパソコンに対応していないため、提供中止とした)

(2) 国領分館

① 蔵書冊数	92,272冊
② 現在受入雑誌数	205種 (和164種、洋41種)
③ 館外貸出冊数	1,685冊 (視聴覚資料含む)
④ 複写サービス	188件 (西新橋・葛飾・柏へのFAX送信相互貸借 (他館))

(3) 標本館

① 所蔵標本数	マクロ標本 1,792点
	顕微鏡標本 2,456点
② 見学者数	31名 (学内12名、学外19名)

(4) 史料室

① 所蔵史料	3,162点
② 見学者数	2名 (学内 2名、学外 0名)

(5) 写真室

① 撮影・スライド作成	136件 (1,918枚)
② ビデオ編集	104件 (708時間)
③ カラープリント出力 (ポスター作成含む)	75件 (1,130枚)
④ 35mmスライドのデジタル化	4件 (21枚)

(6) 国際交流センター

① 海外選択実習

派遣 協定校

医学生 0名

看護学生 0名

受入 医学生 0名

看護学生 0名

② International Cafe (海外からの選択実習生と本学学生、教職員との交流会)

開催：1回 ※Zoomによるオンライン開催

③ 医学科学生の英語医療面接実習

開催：1年生 2回、4・5年生 6回

④ 看護学科学生の英語医療面接実習

開催：3年生 2回

2) 主な事項

(1) 教育・研究年報に関すること

① 『東京慈恵会医科大学教育・研究年報2019 (第39号)』、『Research Activities 2019』の編集

両年報の編集作業を担当した (両年報とも12月1日発行)。

なお、教育・研究年報編集委員会にて、両年報とも2020年度から発行形態を変更することが提案され、拡大教授会議 (12月) にて承認された (『教育・研究年報』はプリント版を中止しPDF版のみの発行に、『Research Activities』は図表を交え本学の研究活動を簡潔に紹介する内容に変更)。

(2) 図書館システムの管理に関すること

① 図書館システムの運用

12月にバージョンアップがあり、提供元の株式会社リコーの担当者と各種調整を進めた。バージョンアップにより、国立情報学研究所が提供する新目録データベースへの接続の対応がなされた。また、5月に開始した学生を対象とした貸出図書郵送の受付、6月に開始した学生の来館事前予約における予約のネットワーク受付、入館者数管理に図書館システムの機能を活用した。

(3) 図書・雑誌等の情報管理、情報サービスに関すること

① ネットワークを介した情報提供

電子ジャーナルと医学関連データベースをネットワーク経由で利用できる環境を維持した。データベースに新規データが追加された際に電子メールにて通知するAutoAlertサービスを引き続き実施している。また、新聞 (全国紙) 4紙から医療および大学関係の記事の見出しを学内に電子メールで配信するサービス (平成2004年12月開始) も継続した。国領分館では、学生用国内電子ブックの活用を図るため、4月以降、2社の製品のトライアルを経て、Maruzen eBook Library (丸善雄松堂) を導入、国領校と看護学科の教員から希望のあった学生用図書の電子版の購読を契約した (8月)。

② リモートアクセスサービスの提供

大学ネットワーク上で利用可能となっている電子ジャーナルおよびデータベースを学外 (自宅や派遣先) からアクセスするためのサービスである「リモートアクセスサービス」 (2009年度開始) の利用者登録とサポート作業を継続した。2020年度の新規登録者は474名であった。

③ 医学部学生の演習の担当

医学科1年生の「情報検索演習」、2年生の「医学総論」、3年生「医学統計学Ⅱ演習」、看護学科1年生の「総合演習」、3年生の「研究方法論:文献検索実習」での情報検索演習、看護学科1年生の図書館オリエンテーションを担当した。なお、いずれもeラーニング

による実施となった。

(4) 利用者支援・指導に関すること

① 教職員等を対象とした情報検索演習

臨床意思決定支援システム UpToDate のオンラインセミナーを提供元のウォルターズ・クルワー社の担当者と企画、開催した（薬剤師向け（9月14日）参加者28名、全利用者向け（9月17日）参加者22名）。なお、例年開催している教職員を対象としたデータベース講習会の実施は見送った。その他、学内各部署からの演習依頼もなかった。

② 医学論文書きかた講習会の開催

Jikeikai Medical Journal 編集委員会と東京慈恵会医科大学雑誌編集委員会の共催による講習会を以下のように企画した。大学院共通カリキュラムの必須科目「医学研究概論」の授業を兼ねた公開講義である。新型コロナウイルス感染症拡大により、延期を経てeラーニングでの開催に変更となった。なおこれらの講習会教材配信を開始した7月1日までに50名の受講申込があった。

- ・「JAMA 臨床研究論文：Research Question から Accept までの体験談」（5月12日）
浦島充佳教授（臨床疫学研究部）
- ・「Writing Clear and Connected English」（5月14日）
岡崎真雄教授（学術情報センター医学英語研究室）
- ・EBMに貢献できる論文の基準と具体例－医学統計学的視点から－（5月19日）
西川正子教授（臨床研究支援センター）
- ・「Beginning advice for writing a research paper」（5月21日）
アラン・ハウク教授（英語研究室）

(5) 総合展示に関すること

① 総合展示の開催

退任記念講義の前後に高木会館と大学1号館のロビーにてポスター展示をする予定であったが、退任記念講義がeラーニングによる公開に変更となったことに伴い、3月22日～31日にeラーニングにて開催した（以下8テーマ）。

- ・「小児心臓外科の新たな展望：成績向上を目指した基礎的・臨床的研究の軌跡」
森田紀代造教授（心臓外科学講座）
- ・「高木兼寛を鼠径部ヘルニア手術」
吉田和彦教授（外科学講座）
- ・「解剖学から医学教育へ」
福島統教授（教育センター）
- ・「希少疾患を、みるということ」
大橋十也教授（遺伝子治療研究部）
- ・「呼吸器外科医から柏病院マネジメントへ」
秋葉直志教授（外科学講座）
- ・「我が研究人生に悔いなし～糖尿病動物と歩んだ40年～」
（第127回成医会第三支部例会 特別講演）（2020年12月19日）
森豊教授（内科学講座（糖尿病・代謝・内分泌内科））
- ・「輸血・細胞治療部－慈恵医大の輸血の歴史と赴任後の14年間－」
田崎哲典教授（輸血・細胞治療部）
- ・「抗甲状腺癌モノクローナル抗体JT-95の作成が導いた乳腺内分泌外科医への道」
武山浩教授（外科学講座）

(6) 画像データ等コンピュータ・サービスに関すること

① 教材・研究資料の作成支援

学生・教職員、同窓生を対象として、静止画・動画の撮影、画像データのデジタル編集、ポスター作成、ビデオ編集、35mmスライドのデジタル化の各サービスを実施した。学

会開催中止に伴い、ポスター作成は57件と減少した（2019年度584件）。一方、公的行事、各種セミナーのリモート開催に伴い、ビデオメッセージ、YouTube配信動画、eラーニング教材の撮影件数が増加した。

(7) 学術リポジトリに関すること

① 学術リポジトリの運用

本学発行物（『東京慈恵会医科大学雑誌』、『Jikeikai Medical Journal』、『教育・研究年報』、『英文研究年報Research Activities』）の掲載記事、本学の歴史に関する出版物、本学教員学術論文(学外発行誌掲載含む)の学術リポジトリへの登録によるインターネット公開を担当した。また、学事課と協力し本学にて授与された学位について情報公開を進めている。2020年度の学術リポジトリへの登録は336件、閲覧は51,340件であった。

② 学位論文に関する著作権調査

編集室（図書館内）にて、学位論文に係る著作権処理の問合せへの対応を担当した。2020年度は問合せに直接応じた調査は35件、学事課より提供される学位申請情報に基づく調査は46件、過年度授与分学位の公開に係る調査は272件であった。

(8) 広報活動支援に関すること

① 広報活動支援業務

学内行事および広報用の写真撮影、画像データの保管・提供を担当した。

(9) 国際交流センターに関すること

① 海外での学習、発表等に対する奨学金や助成金の支給に関する業務を担当した。

・学外研究員 2018年度選考者1名361万円、2019年度選考者1名365万円、2020年度選考者1名274万円

2021年度学外研究員について、国際交流センター運営委員会にて選考した候補者と選考過程を学長に報告し、学長により決定された。

(10) その他学術情報センター業務に関すること

① Turnitin Feedback Studioの利用

剽窃・盗用防止の意識を高めることを目的として、2016年度に大学にて導入されたオリジナルライティング教育支援ツールTurnitin Feedback Studioに関して、医学科・看護学科の授業における利用のサポート、学内教員の利用登録を担当した。2020年度は12名の新規登録者があり、利用登録者は累計で91名となった。

② 抄録・引用文献データベースScopus契約中止と研究推進活動

学内研究活動の評価、分析、推進のために2019年8月に大学にて導入されたScopusの利用促進を研究推進課と協力して進めてきたが、利用件数が伸びず、8月末で契約を中止することとなった。学術情報センターでは、現環境で利用可能なデータを活用して研究推進を図る方法を考えることとなった。なお、PubMedと医中誌Webによる本学業績件数の集計は継続して実施している。

③ オープンアクセスポリシーの策定について

本学としてのオープンアクセスに係る方針を定め公表することを目的として、学術情報センター運営委員会にて「東京慈恵会医科大学オープンアクセス方針」を策定し、拡大教授会議（11月）にて了承された。

④ 図書館環境整備について

2階閲覧室グループ学習室の撤去（閲覧スペースの拡張）（5月）、1階閲覧室の未製本雑誌棚の交換（5月）、閲覧室空調機更新工事（6月）、閲覧室壁面絵画の固定（9月）、2・4層入口段差防止工事（10月）、館内無線LAN（Wi-Fi）用新光回線開通工事（1月）が実施された。

⑤ 高木会館4階の学生利用

年度当初から高木会館4階3室を学生学習スペースとする予定であったが、保留となり、医学科2年解剖学実習時の更衣室として利用した。次年度は学生学習用スペースとして

利用する予定であり、3月に医学科学学生会から3室を感染予防を考慮して使用するための規約案が提出された。

- ⑥ 史料室展示ケース内の展示物のカビ対応
2019年9月に展示物18点（礼服、色紙、賞状、勲章、書幅ほか）にカビが発生したため、2020年3～4月に燻蒸処理をして、4月上旬から定湿トランクルーム（大手町・三井倉庫株式会社）にて保管し、専門業者にクリーニング・修復を依頼した（4～6月）。学内に湿度管理された保管場所の用意ができるまで、展示物は同トランクルームにて保管する予定である。
- ⑦ 西新橋再整備計画「西新橋再整備計画WG」への参加
2014年度から参加していた西新橋再整備計画WGが8月15日に終了した。
- ⑧ Zoom運用のサポート
教育センターと協力して、学内におけるZoomアカウント利用のサポートを担当した（6～3月）。
- ⑨ 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う休館、開館時間の変更
図書館、写真室、史料室は4月1日から5月31日まで、標本館は2020年3月30日から5月31日まで休館とした。
6月1日以降は、段階的に再開、3月31日現在の開館時間は以下のとおりである。

図書館：（西新橋本館） 月～金 9：00～20：00（通常8：00～22：00）
土 9：00～19：00（通常8：00～19：00）
日祝閉館（通常日曜開館・祝日試験期間のみ開館）
（国領分館） 月～金 9：00～19：00（通常9：00～20：30）
土 9：00～17：30（通常9：00～17：30）
日祝閉館（通常日曜閉館）

- ・利用対象は学内教職員のみ。学生（医学部、看護専門学校）は事前予約制。
 - ・入館時にマスク着用、手指消毒、飲食禁止（水筒・ペットボトル飲料は可）。
 - ・カウンターにプラスチックのつい立てを設置。
 - ・使用可能な机は80席、個室・グループ学習室の利用は1室1名のみ。
- ※ 5月7日～3月31日に、学生を対象として貸出図書郵送を実施（学生への郵送料は大学負担）。郵送貸出冊数：117冊（医学部：113冊 大学院医学研究科：4冊）（レターパック520円：41件 ゆうパック：14件）
- ※ 試験期間（12～1月）は、西新橋本館は開館時間を延長し、日曜祝日も開館。

標本館：見学は事前予約制（1時間ごとの入館で、1回につき10名未満のグループ）

写真室：受付 月～金 9：30～17：00（通常9：00～17：30）

史料室：見学は事前予約制。